

令和4年1月27日発行
石川県志賀町議会

議会だより

し か

12月定例会 No.66

サンタさん

プレゼント

ありがとう！

高浜保育園
クリスマス会

議会だよりは
こちらから



表紙の写真を
募集しています

ホームページ、議会事務局へお問合せ下さい。
お問い合わせは ☎ 32-9270

12月定例会は、12月7日から21日までの15日間の会期で開かれ、専決処分
の承認が1件、令和3年度の一般会計や各会計の補正予算をはじめ、条例改正、
工事請負契約の変更、財産の無償譲渡及び公の施設の指定管理者の指定などの議
案が15件、人事案件の諮問2件、請願2件、委員会議案2件、議会議案2件を審
議しました。（※議決結果は4ページ参照）

動画は
こちらから▶



議員定数2減案

14から12

賛成多数で可決

採決

議会最終日の21日、福田晃悦議員から議員定数を現行の
14から12に減らす議会議案が提出され、賛成10、反対3
の賛成多数で可決しました。

あわせて、議員定数の変更に伴い、委員会定数の変更に係
る改正議案も提出され、同じく、賛成多数で可決しました。
施行は、令和5年4月の町議選からとなります。

定数見直しは避けては通れない

福田議員は「次期の町議選に出ようとする町民に向け、改選1年前には
定数を示すべき。町特別職報酬等審議会の報酬引き上げの答申から定数見
直しは避けては通れない」と説明しました。

趣旨説明を行う福田議員

反対

発議第5号・第6号に対し

討論

賛成

中谷 松助 議員

議員定数を削減したばかり。町民の意見
が反映されにくくなることから定数削減
はあってはならない。

富澤 軒康 議員

定数を削減しても、議員が地域に出向くことで民意
を広く聴取できる。行政へのチェック機能は議員の
問題意識が重要であり、低下にはつながらない。

令和3年度12月補正予算を可決

一般会計の歳入では、町税及びふるさと納税寄附金をはじめ、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る国庫補助金及び財政調整基金繰入金等の増額を主とし、歳出では、償還払方式から現物支給へ変更したことに伴う子ども医療費をはじめ、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種事業、避難所における感染症防止対策事業、みらい

会計名		補正額	予算額	
一般会計		3億7979万円	142億7777万円	
特別・企業会計	介護保険	541万円	30億3696万円	
	ケーブルテレビ事業	△538万円	9億886万円	
	上水	資本的収入	△1320万円	3億8441万円
		資本的支出	△1900万円	6億2920万円
	病院	収益的収入	2296万円	14億7982万円
		収益的支出	298万円	13億574万円
		資本的収入	2555万円	1億7174万円
資本的支出		2300万円	2億4695万円	

とうぶ定住促進奨励金、子育て世帯臨時特別給付金事業の10万円一括現金給付及び志賀町あったか福祉灯油購入助成事業実施経費の増額などを主とした補正となります。

特別・企業会計では、各種事業に伴い所要額の補正となります。



志っ張り チェック！ 委員会審査

予算決算 常任委員会

当初予算、補正予算
決算にかかる分野を
審査します。

町民税非課税世帯等を対象とした灯油購入補助事業を聞く

質疑 灯油のみの購入費に限定せず、対象となる世帯に5千円を支給してはどうか。

答弁 灯油価格の高騰による支援であり、助成目的を明確にしたためである。

富来病院の待ち時間を聞く

質疑 ある診療科では、予約からかなり待ち時間があると聞かすが、何か対策を講じているか。

答弁 ご不便をおかけしている。待ち時間解消に向けた取組みを進める。



議会広報を評価

議会広報特別委員会

11月8日、県町村議会議長会主催の議会広報研修会が開催され、講師が各市町の議会だよりを評価しました。本議会の広報の評価は、効果的な見出しで見やすいが、住民参加の企画が少ななどの指摘もあり、今後の議会だより作成に活かしていきます。

原子力防災訓練を視察

議会全員協議会

11月23日、石川県原子力防災訓練が実施され、視察しました。

今回の訓練では、コロナ禍で初めて町民参加で実施され、検温やゾーニングなどの感染対策が行われました。

今後も訓練を重ね、防災対策と安全対策の充実を期待します。

志賀原子力発電所を視察

原子力発電所対策特別委員会

12月7日、原子力規制委員会による志賀原子力発電所の現地調査実施を受け、調査内容や進捗を確認するため、当施設を視察しました。

現地では、断層の一部や調査試料を直接確認し、北陸電力から規制委員会による調査状況の詳細な説明を受けました。

北陸電力には、規制委員会からの指摘事項に対し、丁寧に対応を期待します。



敷地内にて断層を視察

12月定例会

議決結果

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
承認 13	専決処分の承認(令和3年度一般会計補正予算(第4号))…3ページ参照	承認 賛13 反0
議案 51～55	令和3年度一般会計補正予算(第5号)～令和3年度町立富来病院事業会計補正予算(第2号)…3ページ参照	可決 賛13 反0
56	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例…特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴い、書面により行うことが定められている各種記録等を電磁的記録により行うことも可能とする規定が設けられたことから、所要の改正。	可決 賛13 反0
57	国民健康保険条例の一部を改正する条例…健康保険法施行令等の改正により、産科医療補償制度が見直されること等を踏まえ、出産育児一時金等の支給額の内訳が変更されるため、所要の改正。	可決 賛13 反0
58	地域振興拠点施設条例の一部を改正する条例…近況の燃料費等の上昇による影響を踏まえ、指定管理者の自主的な経営努力による安定経営を図るため、利用料金の上限額の見直し及び施設の利用形態に基づく料金設定等について、所要の改正。	可決 賛12 反1
59	病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例…町立富来病院の診療科のうち、来年度より、婦人科を廃止し、高齢者内科と耳鼻咽喉科を新設するため、所要の改正。	可決 賛13 反0
60	「工事請負契約の締結について」の議決の一部変更について(町道第2034号福浦坂線道路改良工事)…転用土材の地盤改良等に伴い、契約金額に1,294万5,900円を増額し、9,251万7,700円に変更する。	可決 賛13 反0
61	財産の無償譲渡「志賀町ケーブルテレビネットワーク」…維持費の増大や専門知識を有する職員の不足、多額の設備更新費が将来的に必要となることから、国の示す「公設光ファイバケーブル及び関連施設の民間移行に関するガイドライン」に基づき、町が保有するケーブルテレビネットワーク設備を金沢ケーブル株に無償譲渡する。	可決 賛13 反0
62	志賀町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の取消し…住民票の写し、印鑑証明書などの交付事務を取り扱う郵便局として土田郵便局を指定していたが、取扱実績の減少やコンビニ交付サービスの開始による利便性の向上などにより、取扱郵便局の指定を取り消すもの。	可決 賛13 反0
63・64	志賀町デイサービスセンターの指定管理者の指定、志賀町ショートステイの指定管理者の指定…令和4年3月31日で指定期間が満了することから、引き続き、社会福祉法人はまなす会を指定管理者として指定する。	可決 賛13 反0
65	令和3年度一般会計補正予算(第6号)…3ページ参照	可決 賛13 反0
請願 2	「人道的見地から、沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう国に求める意見書」の採択を求める請願…「1. 沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂をあらゆる埋立てに使用しないこと。2. 「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。」の意見書提出を求めるもの。	採択 賛12 反1
3	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出を求める請願…「1. 中学校・高等学校での35人学級を実施。さらなる少人数学級の検討。2. 加配の増員や少数職種配置増など教職員定数改善を推進。GIGAスクール構想の実施にともなうICTサポーターの配置増。3. 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わない。」の意見書提出を求めるもの。	採択 賛13 反0
発委 2	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書…請願第2号の採択を受け、意見書を国に提出。	可決 賛12 反1
3	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書…請願第3号の採択を受け、意見書を国に提出。	可決 賛13 反0
発議 5・6	議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例、議会委員会条例の一部を改正する条例…2ページ参照	可決 賛10 反3
諮問 1・2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるもの…人権擁護委員の任期満了に伴う推薦で、青山 洋子氏(再任)、関口 まゆみ氏(新任)の答申を求めるもの。	適任 賛13 反0

一般質問 5氏が登壇 町政を問う!

南	正紀	議員	…	5ページ
福田	晃悦	議員	…	6ページ
堂下	健一	議員	…	7ページ
中谷	松助	議員	…	8ページ
福岡	健太郎	議員	…	9ページ



南 正紀 議員
動画はこちらから



議会が行った提言

「新型コロナウイルス感染症対策」 取組みを聞く

避難所の感染症対策

ホームページへの

町民の関心

どう取り組むか

魅力ある動画の作成と
周知を図っていく

町長

南 ホームページでは、

コロナ禍における避難所運営を動画で周知しているが、再生数は極めて少なく、貴重な情報が住民に届いているとは言いがたい。いかにしてホームページを見てもらうか、今後の取組みを聞く。

町長 今後、情報発信の手段では、魅力ある動画の作成と周知を図り、メールやLINEから、しか

チャネルやホームページ、広報誌へと誘導していくように努めていく。

指定避難所以外の避難
に対する見解を聞く

自主避難する場合の
選択肢と考える

町長

南 宿泊施設への避難、

災害に備えた各家庭の避難計画であるマイ・タイムラインの作成支援、公民館を避難所とした場合の感染対策マニュアルや資機材の整備に対する見解を聞く。

町長 町が指定する避難

所の6施設には、感染症対策の資機材を配備している。その他の避難所に8施設を指定しており、全体として、密を避けるための十分な場所を確保できる見込みであり、宿泊事業者との連携は考えていない。宿泊施設への避難は、自主避難の選択肢としてお示しするものである。

マイ・タイムラインは有効な手段であり、出前講座などで、作成の啓発・支援を行っていく。

避難所運営マニュアルは、希望する地区等に説明した上で配布するが、資機材の支給は、その可否を含め、今後、検討していく。

経済支援対策

事業効果の検証を聞く

十分にあったもの
と考える

町長

南 コロナ禍の早期収束

は見通せないが、今後も適切な時期に的確な経済支援対策が求められる。対策は本当に困窮した事業者などを救う一助となったのか、これまでに実施した経済対策の効果の検証を聞く。

町長 国の特別定額給付

金に志賀町特別定額給付金を追加支給したことで、町民の家計や生活を

支援し、大変喜ばれた。国・県による支援事業の対象外となった事業者への持続化補助金などの支援や、商店・飲食店及び住民生活を支援するため商工会と連携した「プレミアム商品券・食事券」も事業効果は十分にあったと考える。

専門部署の 設置の考えは

設置は考えていない

町長

南 経済支援対策は簡易な手続きで、素早く給付されることが肝要である。町として商工会との連携を強化し、専門部署の設置を求めるが、見解を聞く。

町長 国・県などの関係

機関と役割分担の中で連携を図りながら適切に対応し、各課の連携も密にしており、設置は考えていない。商工会とは密接に連携しながら地域経済の回復を支援していく。

子育て世帯等 臨時特別支援事業を聞く

国の方針を確認し判断する

動画はこちらから



福田 晃悦 議員

町長

福田 18歳以下への10万円相当の給付を巡り、国はクーポン5万円分の使道を子育て目的に限定するが、具体的な使途は各自治体が自ら決める制度となつている。このため、自治体によって利用できる商品やサービスが異なり、不公平感が生じる。全てを現金給付で行う予定の自治体もあり、本町においても5万円の現金給付を検討すべきと考えるが、町長の考えを聞く。

町長 昨日、首相は国会答弁で、年内に現金での10万円一括給付を容認する方針を表明した。
国会で審議されているところであり、明確な方針を確認してから、判断したい。

すばる幼稚園の 制服等購入費補助を聞く

1人あたり2万円を補助

住民課長

福田 すばる幼稚園に転園する場合の制服等にかかる料金補助額と本年4月に転園し、先に制服を購入した場合など、補助対象者を聞く。

転園により、送迎が困難な家庭が今後予想され、送迎にファミリーサポートサービス事業等の拡充を図るべきと考えるが、町長の考えを聞く。

住民課長

志賀地域の公立保育園は、国の方針を踏まえ、すばる幼稚園の移転を転機に段階的にすばる幼稚園へ移管し、町財政の負担軽減を図っていく方針である。このことから、すばる幼稚園の制服購入費を助成する。補助額は一人2万円とし、対象者はすばる幼稚園の2歳児、公立保育園

からすばる幼稚園へ転園した児童及び本年4月に転園した児童とする。ファミリーサポートセンターでは、保育園の送迎や開所時間前後の預かりなどを行っており、今後も子育て世帯の手助けになるよう、支援していく。

その他の質問

福田 原子力規制委員会の現地調査をうけ、発電所に対する現状での考えを聞く。

環境安全課長

北陸電力には現地調査で求められた課題に対し、真摯に対応し、引き続き丁寧な説明に努めるよう求める。



町に分譲住宅地「みらいとうぶ」隣接地に完成したすばる幼稚園

風力発電問題を問う

地域住民の意見に配慮した 計画を求めていく 町長

堂下 予定されていた建設基数が完成すると、本町は風力発電に囲まれた町となり、地域にわずかばかりのお金が入ったとしても、人口流出は今ままで以上に進むと考える。

現在の計画では、町民の健康と安全な暮らしは保障できなくなる可能性が大きいと思うが、町の「志賀町再生可能エネルギー発電設備設置指導要綱」にのっとり、何らかの指導を事業者に行うことを考えていないのか。

町長 町としても、「志賀町再生可能エネルギー発電設備設置指導要綱」において、法令や設備設置基準の遵守、住民説明会等の開催と住民の理解を得ることを求めています。

良好な自然と景観及び生活環境との調和を図り、設置区域及びその周辺地域における災害の防止並びに住民生活環境の向上に資することなど、事業者に対して指導している。

計画中及び今後計画される事業に対しては、然るべく意見を述べたいと考えており、丁寧で分かりやすく説明するよう要請していくと共に、何よりも、地域住民の意見を十分に配慮した計画とするよう求めていく。



堂下 健一 議員

動画はこちらから



原子力防災訓練 感染症対策に対する協議の進捗は

関係市町と協議を進めている 環境安全課長

堂下 ①感染症対策として避難車両や避難箇所の増設に向けた協議内容を聞く。

②複合災害による悪条件な場合や、11月以外の訓練実施への考えを聞く。

③風向きによって能登町、白山市以外の避難先を検討しているか聞く。

④避難所での災害関連死への対応策を聞く。

⑤福井県美浜原発防災訓練での自治体職員を被ばくにさらすような状況を聞いての所感を聞く。

環境安全課長 ①県内だけで避難車両の確保が困難な場合は、国が隣県などにバスを手配するなど、万全の体制を取っていくと聞いている。

避難所の居住面積の確保は、県の避難計画要綱上は十分とされているが、実際に避難施設を精査し、感染症対策の資機材の対応を含め、県と共に関係市町と協議を進めている。

②今年度の訓練では、地震による複合災害を想定しており、当日の気象に応じた避難方法を切り替

えるなどの訓練を行っている。

実施時期は、多くの機関が参加しており、調整は難しいと考えるが、何よりも訓練を重ねることで理解を深めることが重要である。

③県では南加賀地域を中心とした6市町をバックアップの避難先とする計画である。

④避難者が快適に過ごせるよう資機材の整備や、町の保健師と必要な物資などの検討会を実施している。

⑤国の放射線防護対策の調査研究結果に基づき、新しい知見を取り入れて実施されたと聞いており、適切な訓練であったと考える。

その他の質問

堂下 図書館の大人の利用やサービスの周知を聞く。

教育長 各種企画展示、自主事業開催の充実を含め、大人の読書活動の推進について検討していく。

動画はこちらから



中谷 松助 議員

あったか福祉灯油の実施を

実施する予定である 町長



高騰が続く灯油

中谷 生活必需品の暖房用灯油の値上がりは死活問題であり、本町でも影響を受けている生活者、事業者への支援策としてあったか福祉灯油を実施してはどうか。

町長 石油製品価格の高騰は私たちの生活に大きく影響が出始めており、特に生活困窮世帯には、負担が重くのしかかっている。県内では、灯油助成を実施する自治体が増えており、本町も助成の準備を進めている。

3歳児健診に 屈折検査の導入を

令和4年度から導入予定

健康福祉課参事

中谷 検査には高額な検査機器の購入が伴うもので、全国的にも導入が進んでいないのが現状であるが、本町の3歳児健診での屈折検査の導入を求める。

健康福祉課参事 国の補助を受けて、令和4年度に予算措置し導入する予定であり、子どもの弱視発見に努めていく。

中谷 新型コロナウイルスワクチン未接種者へのPCR検査を。

その他の質問

中谷 ころ柿大凶作、米価暴落に支援を。

農林水産課長 大きな被害が継続して起こるようであれば、保険の掛金を補助するなど、支援を検討する。

米価の下落に対し、県等の支援策が講じられた時には必要な対応を取っていく。

中谷 補聴器購入助成制度の創設を。

健康福祉課参事 町独自の制度創設の考えはない。

中谷 介護認定者に障害者控除対象者認定書の送付を。

健康福祉課参事 これまでどおり、介護認定後の介護保険証の送付時に同封し、案内していく。

中谷 分散型保育園は必要では。

住民課長 将来的には、志賀地域の公立保育園を高浜保育園1園にしたいと考えている。

中谷 原発は地球温暖化防止に逆行するのでは。

環境安全課長 第6次エネルギー基本計画で、前の計画と同様に原子力は低炭素のエネルギー源として位置づけられている。



稲岡 健太郎 議員

動画はこちらから



稲岡 七尾市や能登町が実施しているキャッシュレス決済を活用したポイント還元事業を検討してはどうか。



メリットが多い
キャッシュレス決済

キャッシュレス決済 ポイント還元事業を検討しては

広く事業効果を享受できるところよう
検討していく
商工観光課長

商工観光課長 デジタルに不慣れな高齢者やキャッシュレス決済の手段を持たない方など、デジタル格差により、ポイント受給者が偏ってしまうほか、利用が一部の店舗に集中する傾向にあるなど、町民や事業者に不公平が生じる事も懸念される。町民や事業者が広く事業効果を享受できるように、様々な視点から慎重に検討していく。

教育長に所信の表明を求める

3年間を総括し、誠心誠意努める 教育長

稲岡 教育行政の責任者として、新たな任期に対する所信の表明を求める。

教育長 これまでの3年間をしっかりと総括し、誠心誠意努めていく。町長が目指すビジョン、「若者、こどもが住みやすいまちづくり」を受け、引き続き、「本町の特色を活かし、未来を見据えたふるさとを大切にす教育の推進」を進める。

学校教育では、「子どもたちの健やかな学びの保障」と「安心安全のためのコロナ対策」を最優先に取り組み、生涯学習では、感染状況を見極めながら、文化芸術活動やスポーツ活動の充実に努める。

学校では、児童・生徒のいじめや不登校、教員の働き方改革、生涯学習では、地域コミュニティ活動の活性化など、課題も山積しており、これらについても、引き続き、誠心誠意取り組んでいく。

その他の質問

稲岡 いじめ防止対策の現状、不登校児童数の推移及び対応を問う。

学校教育課長 いじめ防止対策では、アンケートの実施、相談員の配置、いじめ問題対策チームの設置などに取り組んでいる。不登校児童は、小学校は令和元年度及び2年度が2名、本年度は11月までで1名、中学校は令和元年度が13名、2年度が12名、本年度は11月までで10名である。定期的にケース会議の実施、家庭訪問や電話連絡を通して本人の悩みや保護者の思いの聞き取りに取り組んでいる。

稲岡 困窮学生を対象にした緊急支援金、支給の対象外の学生等に町独自の支援金を検討してはどうか。

町長 対象者の所得状況など、困窮の度合いの把握が困難なため、難しいと考える。

稲岡 飼料用米等への転作の現状、種子等の購入費の補助を問う。

農林水産課長 県内3番目の作付面積である。

主食用米の収入を上回る交付金を受け取ることも可能であり、助成は考えていない。

コロナ支援策を聞く!

実施された支援策の評価

今後、求める支援策は

実施された支援策をどう思いますか

〔満足している意見〕

特別定額給付金(国・町)

- 売上が減少していたので助かった。
- 国民全員に分け隔てなく支給が良かった。

持続化給付金(国)、持続化補助金(町)

- 対応が早く助かった。
- 該当する給付金等があり、助かった。

感染防止緊急支援費補助金(県)

- 飲食店や商業施設に感染拡大防止策が行き渡り、安心して利用できるようになった。

プレミアム食事券・商品券

- 食事券は飲食関係の救済措置として良い効果があった。
- 住設工事等でも支払いが可能であったため、商品の成約に至った。

- 購買意欲を駆り立て、直接、店へ支援もでき、よい支援策だと思つ。
- 使える店が限られているので客が流れてきた。

- 来年度以降も期待している。

〔不満な意見〕

特別定額給付金(国)

- 消費刺激の効果は感じられなかった。所得制限を設けるべき。

持続化給付金(国)

- 前年比50%減は要件が厳しく、20~30%減にしてほしい。

プレミアム食事券・商品券

- 商工会会員以外でも使えるようにすべき。

- 商品券と食事券のプレミア率の差が分からない。

- 飲食店ばかり優遇している。

その他

- 町から一方的に情報発信しても伝わらない。各地域に向向いて、意見交換会や説明会を行うてはどうか。

- 行政がイベントを行わない。

- イベント事業に支援がない。

- イベント業や飲食の卸売り業には特別な支援がなく、幅広い支援を希望する。



議員と熱く意見を交わす商工会青年部の皆さん

今後、必要な支援策等がありますか

- 医療従事者(感染リスクが高い業種)への支援

- 原油価格高騰に対する低所得者や年金生活者への支援

- 続けてきた事業を継続するための支援

- 事業者へのヒアリング等を実施し、多様な業種に対応した支援

- アフターコロナを見据えた移住促進への支援及び情報発信不足の解消

- U・イターンに対し、起業などへの支援やアピール

- 新たな生活様式に対応したこれまででない支援策

- 「未来」を見据えた設備投資等への支援

- 文化活動(祭り等)に対し、主催者が開催を判断する際のガイドライン

- 工業系や製造系の支援
- 任意のPCR検査無料化

商工会青年部に

青年部長 三人に
インタビュー



志賀町商工会青年部
部長 上杉 幸司 さん

【質問】 今回の懇談会はいかがでしたか。

【回答】 今回の試みということでしたが、町議会議員の方々や町政を話し合う機会がなかったので、大変良かったです。

【質問】 今後、議会に望むことは何ですか。

【回答】 町民や企業の声が届きやすく、その声を議会の場で議論してもらえ、よくな議会にして頂きたいです。

【質問】 今後、どんな志賀町を望みますか。

【回答】 子どもがこれからも住みたいと思う町、町外の人が移住したくなるような活気のある町になってほしいです。



富来商工会青年部
部長 中島 正士 さん

【質問】 今回の懇談会はいかがでしたか。

【回答】 町議員さんと話す機会があまりないことなので、いい企画と感じました。

【質問】 今後、議会に望むことは何ですか。

【回答】 今後も持続可能な町づくりの提案をよろしくお願いします。

【質問】 今後、どんな志賀町を望みますか。

【回答】 地元から見ても、都会から見ても、「この町に住みたいと思える町」を追求して行ってほしいです。

後列 (右から)
 稲岡康治郎さん、越後 敬輔さん
 小堀 一馬さん、富澤 慎さん
 藤本 啓介さん、升本 侑太さん
 小泉 亨さん、裏 貴大さん
 稲岡健太郎議員

前列 (右から)
 中川 広紀さん、山岸 政治さん
 上杉 幸司さん、中島 正士さん
 小川 省吾さん、高澤 真一さん



今回、参加いただいた志賀町・富来商工会青年部の皆さん

議会から

商工会青年部の皆さん、お仕事でお疲れのところ、大勢のご出席をいただき、ありがとうございました。直接、皆さんからご意見を聞くことができ、大変、有意義な懇談会でありました。今後も、幅広く、町民の皆さんの声をお聞きできるよう懇談会を実施していきます。

今回は、

志賀町に移住された

高浜町の東 満輝さん

にお話しをお聞きしました。

お聞きしました 志賀町のこぼれ

しかまち LIFE

議会だより

しか

12月定例会

No.66

令和4年1月27日

家族構成をお聞かせください。

私、妻、娘(1歳9か月)の3人家族です。

出身はどちらですか。また志賀町に住んで何年になりますか。

輪島市出身で、約5年になります。

志賀町に移住された理由は何ですか。

妻が志賀町出身で、定住を希望したことからです。

お気に入りの場所などありますか。

アクアパーク シ・オン です。

(理由)

大きいお風呂はもちろんのこと、レストランの置スペースがゆっくり寛ぐのにピッタリ。

娘もお気に入りです。

志賀町の良いところ、好きなどころはありますか。

子育て世代にやさしいところです。

(理由)

スーパーなど必要なお店が最低限揃っていて、公園もきれいに整備されている。アリス館やフーリィ等、無料の施設が充実している。「しかばす」はPayPayが使えたり、バス停にはWi-Fiがあったり、と若い世代にとってもありがたいサービスがある。

町や議会に望むことはありますか。

小さい公園はちょこちょこありますが大きな公園を造ってほしいです。富山の環水公園や七尾の希望ヶ丘公園のような、他の町からも遊びに来たくなるような、そんな町になってほしいです。



なんでもアピールどうぞ。

この町ですっと過ごしていきたいと思っています。子どもたちが元気に幸せに生きていけますように、お手伝い願います。

お申込み方法

下記の連絡先、メールアドレスにお申込みください。ご連絡先をお伺いし、後日、お話しをお聞かせいただきます。

連絡先：議会事務局 0767-32-9270 (担当：山田、坂上)
メールアドレス：gikai@town.shika.lg.jp

皆さんからの応募

お待ちしております



過去の議会だよりは
こちらからご覧いただけます



お知らせ

3月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

3/1 (火)	本会議 13:30	議案の上程 (町長が町の近況や議案説明をします。)
3/8 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
3/18 (金)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者 議長 南 正紀

議会広報特別委員会

委員長 表谷 茂浩

副委員長 福田 晃悦

委員 稲岡 健太郎

寺井 俊一

富澤 康

櫻井 俊一

発行 / 志賀町議会 編集 / 議会広報特別委員会
〒925-0198 石川県羽咋郡志賀町末吉千古1番地1
TEL (0767) 32-9270 FAX (0767) 32-3933